

町長日誌 No.193



町長日誌の第 193 号です。町長が日頃町民の皆さんと話し合ったことや色々な出来事を町長自ら書いたものです。町民皆さんのご意見・ご要望・ご感想をお待ちしています。

11月15日(金) PM 3:30

10～14日までの東京出張が終わり今日は朝から役場で打ち合わせ、挨拶文づくり、来客対応などの一日です。ついに雪が降ったというか積もりましたと言った方が正しいと思いますが、町長室から見える北興の山並みも真っ白になりました。会う人が口々に「根雪かね？」と言われます。今年の初雪は11月7日と昨年より2週間遅かったのです。さて、除雪車の出動はいつになるのでしょうか？ ちなみに、奥地の我が家付近は10cmを超える積雪でした。同じ町内でも場所によってずいぶん違うものです。浜の方ではサケの不漁が伝えられています。少しホッケやイカの群れが来ているようです。羅臼や紋別のイカ漁が好調と聞いていましたがその群れが北上しているようです。海の時化やすい時期で漁師の皆さんも大変でしょうが少しでも漁が多いことを願っています。

10月29日(火)

北海道の来年度の道路や治水事業予算の要望活動で財務省を訪問しました。私たち自治体は様々な団体をつくり各種事業予算の獲得のための活動をしています。特に公共事業は都道府県単位での事業枠を確保しなければ興部で進めようとしている道路や港、橋や河川などの改修予算が確保出来なくなるためです。これまで財務省は他の省庁に比べて敷居が高く、要望に行っても係の若い職員が要望書を受け取る場合が大半でしたが、財務省主計局長に太田局長が就任してからは直接要望を聞いてくれるようになりました。勿論、道内選出の代議士の同行は必須条件ですがこれまでにない大きな変化です。だから

と言って急に予算が増えることは厳しいですが、財務省も戦略を少し変更したようです。

11月7日(木)

今年度に入ってから道庁より昨年のブラックアウトを受けて国は地域にあるバイオガスや風力などの再生エネルギーを有効活用してエネルギーの分散化を進める「地域循環共生圏構想」を環境省事業として募集するので取り組んでみないかというお話がありました。町としましても今後新たにバイオガスプラントを建設したい希望が複数あるのですが、北電からは送電線の容量不足から接続できないとのこと。これは困っていました。この循環共生圏事業は簡単に言えば地域で電力販売会社をつくりバイオガスプラントなどから作られる電力を公共施設や企業などに買ってもらうとするものです。昨年のような地震災害で発電が止まっても興部を中心とした電力販売会社エリアは停電にならないようにしようとする構想です。勿論、このためには北電の協力は欠かせませんが来年4月から電力業界は発電と送電事業が分離されることもあってか今回の取り組みに参加・協力をしていただけることになりました。今回の取り組みは西紋5市町村と湧別町の6市町村が連携して進めようとする事業です。今年度は発電可能な電力量と利用可能な公共施設等の需要量調査を行い、事業実施の可能性に向けて取り組む予定です。



今年もあと一月余りとなりました。つくづく月日の経つのは「早いな～」と雪が降ると急にそんな気分になりますね。国保病院にはインフルエンザの患者さんが増えています。例年より早い流行ですがこれも気候が影響しているようです。うがいに手洗い、そして早寝早起きが最大の予防だと聞きますが、なかなか出来ないのが人間の弱いところです。ちなみに私は家に帰った時に必ずうがいと顔を洗うようにしています。結構、良いみたいですよ。では、また。

お便りをいただく場合は、適当な便箋等を封筒など（使い古しのもので構いません）に入れ、封をして、町役場窓口か、お知り合いの町職員にお渡し願います。町長のみ開封とし、お返事をさせていただきます。不明な点は、総務課総務厚生係まで。TEL 82・2131です。

